

教団新報

定価 1部220円(本体200円+共283円)
予約購読料 1年分 千円 3,962円
紙代のみ 3,080円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
URL http://uccj.org
発行人 網中彰子
編集主筆 嶋田恵悟
印刷所 株式会社きかんし

教区総会報告

多くの教区がコロナ以前に近い形で開催

2023年度 1 四国・兵庫・京都・東北・大阪・九州・中部・奥羽・西中国・北海



三役・常置委員・主事、集合写真
後列左3番目から、松井副議長、野村書記、寺島議長

四国

互助規則変更、申請要件を緩和

第81回四国教区総会が4月28～29日、松山教会を会場に正議員142名、中100名の出席を確認して開催された。

開会礼拝を捧げ、組織会を経て一日目は、三役と常置委員(教職)の選挙を行いながら、2022年度諸報告を中心に議事が進められた。

常置委員会報告のうちから「四国教区教会互助規則及び互助細則変更に関する取り組み」、「ハラメント事業に関する取り組み」、「関西学院大学神学生研修に係る活動報告」等が年度内の特別な事柄として告げられた。続いて各部と分区分報告がなされ、これらの質疑は二日目に行われた。報告

に続いて教団問安使の藤盛重紀副議長より挨拶を受け、この質疑も二日目に行われることとなった。

一日目の議事後には協議会が行われ「信徒が展覧する四国教区の明日」と題して2名の信徒議員から発題がなされた。教区は教会の交わりであり教会が互いの働きに作用することで将来が開かれる展望となると、交わりの中で信徒が声を上げることのために、訓練や自覚などが必要ではないか、といった発題がなされて全体の協議が行われた。

二日目の朝は2022年度に逝去された教職2名の追悼式を行った。続いて兵庫教区総会、教区内の様々な課題を担い合うこと、そして互いに満たされることのできる教会でありたいという願いが込められている。また総会の中では会場地区となった播州地区を知っていたため、この一時的な場をもち

兵庫

「つながり『さいこう』」をテーマに

兵庫教区総会、教区内の様々な課題を担い合うこと、そして互いに満たされることのできる教会でありたいという願いが込められている。また総会の中では会場地区となった播州地区を知っていたため、この一時的な場をもち

いて准允式が行われ、新たに2名の補教士が立てられた。

この後議事が再開され、常置委員(信徒)の選挙が行われた。午前中は2022年度諸報告に対する質疑に多くの時間がかけられた。また、常

置委員会から提案された「教区教会互助規則変更」についても多くの意見を聞きながら議論を深め、互助の申請が当該教会からでは困難な場合に対応するため、他教会からの協力を得ての申請、他教会が担任教師を招いて派遣する場合にも申請ができるようにするなど、新たに立てられた方針が承認された。この件は具体的な化についての議論を深めて準備し2025年度より実施されることになった。

2023年度の計画については、10教会への互助を含む計画がそれぞれに承認された。

また、長く活動実態のなかった2つの教会・伝道所と、昨年度末をもって活動を閉じることになった1つの伝道所の解散・廃止がそれぞれ決議された。

三役選挙結果
【議長】若林一義(芦屋西)、【副議長】栗原宏介(岡本)、【書記】榊田翔希(尼崎)
常置委員選挙結果
【教職】大仁田拓朗(甲子園)、上内鏡子(神戸)



左から、栗原副議長、若林議長、榊田書記

シグマ
ラリテイ
(技術的特
異点)とい
う言葉が使
われるよう
になって久しい。AIの
発達が進歩点に達し、人
間の知性を超える時点の
ことだ。それを境にAI
は、加速度的に進化を遂
げるとの予測もあり、「問
題」視もされている。既
に、「AIの発達により
無くなる職種」をテーマ
とした言説を、しばしば
見聞きする。▼最近開
発されたAIは、聖書箇所
を示し説教の作成を指示
すると、膨大なデータか
ら言葉を繋ぎ合わせ、無
難な説教例のようなもの
を提示する。今、自らが
担っている働きが、遠く
ない将来、取って代わら
れるかもしれないと思
いがよぎる。▼福音宣
の務めは、単なる知識の
伝達ではなく、キリスト
のからだを立てること
であり、赦された罪人として
愛に生かされ、人々と
共に歩むことだ。それは
「愚か者」となることで
あり、およそAIが担え
る分野ではない。▼パウ
ロは、自身が主に仕える
ことで愚か者となってい
ることを告げ、キリスト
を信じることで賢い者とな
っていた教会の人々の
姿勢を叱咤して語った。
「言葉ではなく力を見せて
もらおう」(コリント
一4・19)。このパウ
ロが語る力を見せている
のかどうか「問題」だ。

荒野
シグマ
ラリテイ
(技術的特
異点)とい
う言葉が使
われるよう
になって久しい。AIの
発達が進歩点に達し、人
間の知性を超える時点の
ことだ。それを境にAI
は、加速度的に進化を遂
げるとの予測もあり、「問
題」視もされている。既
に、「AIの発達により
無くなる職種」をテーマ
とした言説を、しばしば
見聞きする。▼最近開
発されたAIは、聖書箇所
を示し説教の作成を指示
すると、膨大なデータか
ら言葉を繋ぎ合わせ、無
難な説教例のようなもの
を提示する。今、自らが
担っている働きが、遠く
ない将来、取って代わら
れるかもしれないと思
いがよぎる。▼福音宣
の務めは、単なる知識の
伝達ではなく、キリスト
のからだを立てること
であり、赦された罪人として
愛に生かされ、人々と
共に歩むことだ。それは
「愚か者」となることで
あり、およそAIが担え
る分野ではない。▼パウ
ロは、自身が主に仕える
ことで愚か者となってい
ることを告げ、キリスト
を信じることで賢い者とな
っていた教会の人々の
姿勢を叱咤して語った。
「言葉ではなく力を見せて
もらおう」(コリント
一4・19)。このパウ
ロが語る力を見せている
のかどうか「問題」だ。

京都

米国合同教会と宣教協力

京都教区定期総会を5月19〜20日に洛陽教会で開催した。開会時に議員141名中84名出席、二日目冒頭62名出席で総会成立。前年同様にコロナ禍での時間短縮と食事・茶菓なしの対面総会を行った。

三役・常置委員選挙は、コロナ禍による任期のずれを戻すために前回選出者の任期1年短縮を決議してから行った。議長・副議長が共に3期目当選。書記は前任者の辞退を受けて新人選出。常置委員は、教師は若干の変化で、信徒は新人が大きく増えた。

議案16号「一般財団法人クラッパードイン設立を契機に、アメリカン・ボード京都宣教150周年を記念して米国合同教会と宣教協力を行う件」を可決した。これは米国合同教会(UCC)のWCM(ワイダー・チャーチ・ミニストリーズ)が京都市内に所有する元宣教師住居の土地建物を、多様な背景を持つ方々の地域共生を目的とした社会活動を行う店舗「パザールカフェ」の運営に用いるための、WCM・京都教区・バザールカフェ運営委員会の三者協力の財団法人設立を踏まえ、京都教区と米国合同教会が宣教協力を行うことと決議である。

議案26号「2022年度教区会計剰余金処理に関する件」では前年度剰余金をコロナ対策や教区資金などに配分する原案



左から、松下書記、今井議長、横田副議長

年を記念して米国合同教会と宣教協力を行う件」を可決した。これは米国合同教会(UCC)のWCM(ワイダー・チャーチ・ミニストリーズ)が京都市内に所有する元宣教師住居の土地建物を、多様な背景を持つ方々の地域共生を目的とした社会活動を行う店舗「パザールカフェ」の運営に用いるための、WCM・京都教区・バザールカフェ運営委員会の三者協力の財団法人設立を踏まえ、京都教区と米国合同教会が宣教協力を行うことと決議である。

二日目冒頭に2名の准允式を執行した後、以下の主旨の建議3件を議案として可決した。①「安保3文書」「防衛2法案」への反対、②人権難民法改悪への反対、③同志社

大学近隣への皇族訪問時の大学対応に関する常置委員会への要望。概ね以上で総会を終了

東北

「放射能問題支援対策室いずみ」2029年度まで継続

第78回東北教区総会が5月4〜5日、山形学園高等学校で、開会時、正議員144名中132名が出席して行われた。

高橋真人議長が、「第78回東北教区総会を迎えるにあたって」を朗読。

浪江伝道所に飯島信教師を迎え活動が再開したこと等を報告した。

【副議長】横田明典(近江金田)、【書記】松下道成(洛陽)

【教職】浅野献一(室町)、入治彦(京都)、横田法子(草津)、小笠原純(平安)、新井純(世光)、山正道(大津)、大山修

【信徒】松田規(福知山)、谷村耕太(水口)、谷本聰子(今津)、富増献兒(西小倉めぐみ)、永島鉄雄(草津)、上田佳子(大津)、原田潔(大津東)

【常置委員選挙結果】(西小倉めぐみ)、永島鉄雄(草津)、上田佳子(大津)、原田潔(大津東)

【三役選挙結果】(高橋真人(会津坂下)、【副議長】布田秀治(いずみ愛泉)、【書記】瀬谷寛(仙台東一番丁)、【宣教師委員】荒井偉作(名取)

【常置委員選挙結果】(関川祐一郎(石巻山城町)、福島純雄(福島、長尾厚志(仙台ホサナ)

【信徒】鎌田仁美(涌谷)、森陸(天童)、齋藤仁二(山



問安使挨拶をする藤盛教団副議長

大阪

准允式での教団信仰告白をめぐる議論

5月9日、第68回大阪教区総会が大坂力テドラ聖マリヤ大聖堂で開かれた。対面での開催は4年ぶりで開会時の出席は正議員271名中173名だった。

総会冒頭、准允式での日本基督教団信仰告白の有無を巡る議論が起きた。尾島信之議長は「准允予定者と相談して今回はしないと決めた。大阪教区ではその都度受領者

の意向を聞いて式のやり方を、信仰告白の有無も含めて決めている」と説明。これに対し「教団が教師を立てるのだから信仰告白をするべき」、「受領者の意見を尊重した形で行うべき」等の意見が出た。また受允者本人が「教団に転入する際に信仰告白をしたので教師になるために改めて告白する理由が分からない」と述べた。採決の結果、准

允の執行に関する件は承認された。これを受け開会礼拝の中で准允式が執行され1名の教師が新たに立てられた。

常置委員会報告は例年どおり主たる取り扱い事項を議長が説明する形で行った。報告を受け、教団伝道資金を満額申請したこと意見が出た。これまで大阪教区は伝道資金のあり方を疑問視し、教団に対し伝道資金分担

金は納めるが申請はせず教区の資金から拠出してきた。尾島議長は「財源が尽きてきた。制度を用いながら良い方向に変えていくことも大切。申請と共に要望書も提出した」と述べ理解を求めた。

「岸田政権の『安保関連三文書』閣議決定の撤回、琉球弧の軍事基地即時撤去・建設反対を求める声明」に関する件は沖縄交流・連帯特別委員会

の要望を受けて議案化したもの。議場からは「声明にキリスト教的要素や教会的文言が何もない」、「この閣議決定が(提案理由にある)沖縄への攻撃リスクを高めるというのは論理の飛躍」等の反対意見、「キリスト教的な文言は必要ではない」、「大阪から声を上げる」とが大切」等の賛成意見が交わされ、162名中103名の賛成で承認された。

教団問安使の雲然俊美教団総会議長は議長挨拶に加え、大阪教区常置委員会が第42回教団総会に



開会礼拝の中で准允式

九州

軍事力に頼らない平和に向けて
議案を可決

第73回九州教区総会が5月2〜4日、福岡中部教会にて開催された。2020年度、2021年度は書面による総会、2022年度は集合し一日のみとなる総会であったが、今回はコロナ禍前と同じく2泊3日での総会となった。議員数は235名中、開会時の出席議員は140名であった。

一日目、開会礼拝に続き、今年度より新たに着任した4名の教師の紹介がなされた。午後には、日下部遺志議長によって記された12頁に渡る報告書に基づき、丁寧な議長報告がなされた。

夕方からの議員研修会では例年、講師を立てて行

われてきたが、今回は、全体を10グループに分け、九州教区の宣教の課題について、それぞれの教会、伝道所、宣教の現場のことについてグループごとに「語り」「聴き合う」ときを持続した。休憩を挟み、19時から議事再開となり、議案「九州教区宣教基本方針策定に関する件」が審議された。宣教基本方針は隔年で見直しが行われる。九州教区が取り組む全23項目の課題について説明がなされ議場の承認を得た。

中部

三役選挙、議長・副議長が交代

第73回中部教区総会が5月23〜24日、名古屋中央教会で、開会時正議員199名中178名が出席して開催された。

二日目以降、三役・常置委員、伝道センター委員長・委員等、各種選挙が行われるのに並行して、議案「熊本・大分」

地震救援対策本部を閉じると共に、新たな大規模災害に備える件が審議、可決され、提案とおり新たに「エルピスくまもと運営小委員会」と「災害

礼拝出席1000名、經常収入2億円の減となっている一方、この2年間で比ると礼拝出席者が回復基調にあることを提示した。また、中高生バ

三役選挙では、新たに加藤幹夫教師を議長に、小林光教師を副議長に選出した。常置委員選挙に

信徒5名の選挙を「予備選挙を行わず、全数連記で本投票を行う」ことが提案された。これに対して、教職5名、信徒4名の制限連記とする修正案が出された。「さまざま

【教職】川島直道（錦ヶ丘）、日下部克彦（大分）、多田玲一（福岡女学院）、松崎豊（福岡弥生）

【信徒】伊津見七生子（若松浜ノ町）、川端智絵（大牟田正山町）、小深田信明（国東）、坂上剛（長崎馬町）

【議長】日下部遺志（川内）、【副議長】西岡裕芳（福岡警固）、【書記】長谷川渉（津屋崎）

【三役選挙結果】

【議長】加藤幹夫（阿漕）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】加藤幹夫（阿漕）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）

【議長】朝倉秀之（金沢）、【副議長】小林光（熱田）、【書記】尹成奎（中川ぶどうの木）



左から、小林副議長、加藤議長、尹書記

奥羽

対面開催の喜びに満たされた総会

5月23〜24日の日程で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという

喜びに満たされた総会で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという

喜びに満たされた総会で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという



左から、西岡副議長、日下部議長、長谷川書記

喜びに満たされた総会で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという

喜びに満たされた総会で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという

喜びに満たされた総会で、第78回奥羽教区総会が開催された。開会時の議員数は、正議員109名中98名。例年会場は教区事務所なのだが、コロナ対応のため、アイーナ（いわて県民情報交流センター）での開催となった。総会の中で繰り返し語られていたが、対面での総会開催は4年ぶりという

活動が継続されたということであった。教団問安使は藤盛勇紀教団副議長。教団議長挨拶への応答として、沖繩教区との関係について、沖繩キリスト教団との合同当時を知る教職が少なく、沖繩がどう思うか、等が報告された。その後、常置委員会、各部、地区等の活動報告がされたが、それぞれの報告に共通していたことは、コロナ禍という困難な状況の中、それでも様々な工夫を凝らしながら、活動が完全にストップしないように何とかできる限りの



准允式

西中国

謝儀互助制度に関する協議会を開催

西中国教区第72回定期教会は5月23日、24日に広島流川教会にて、議員数111名中78名の出席により開催。今年度は新型コロナウイルス対策で行いながら対面総会となった。

開会礼拝では、塩見和樹教師がコロナ後の世界を見据えて『「わがわが」の業』と題して説教、皆で賛美をする喜びを味わえた。議案審議は法定議案のみとなり、すべて可決、コロナ禍の影響により選挙なしの総会となった。

「按手礼・准允式に関する件」が承認され参集した関係者と総会議員、そして神の祝福を受け上内恵教師（広島観音町教会）の准允式と金清洛教師（広島女学院中高）の



按手礼

按手礼が執行された。小畑太作議長は総括で、2015年より議長を担っていることに関して、健全な組織体であるためには、今期を最後と考えるべしとのべた。

「教職謝儀互助制度の維持と拡充」を図るために「教職謝儀互助制度に関する協議会」が開催された。謝儀互助制度改正検討特別委員会から申請条件の緩和と、兼務教師への援助拡充を主な内容とする試案が示された。これに対して議場より根本的に改革するのは一教区だけでは無理であり、教団規模での対応を望むとの意見が出された。その他、教団問安使との協議会では、教師不足について意見が交わされた。教師の生活保障につ



左から、西岡書記、原議長、杉岡副議長

岩国基地を抱える教区として「日米軍事再編問題についての北米教会との連帯構築」を長らく掲げてきたが、ここでも教団としての分かち合いが問われている。教団は2007年3月に北米6教会と脱軍事力のための行動を約束したが、その約束は不履行のまま今に

第83回北海教区定期総会は、5月3〜4日、札幌北光教会にて開催された。開会時の議員数は119名中94名であった。

「教師の正教師按手に関する件（議案第3号）」が承認され、開会礼拝において金澤友幸教師（岩内）の按手礼が執行された。

北海

兵庫教区との宣教協約継続を可決

北海教区の平和を求める決議として「沖縄を再び戦場にする敵基地攻撃能力保持と野放図な軍事費膨張に反対し、憲法9条に沿った平和外交の構築を求める決議に関する件」（議案第18号）、「政府の原発推進計画に反対し、北海道に核廃棄物を持ち込ませないための活動を推進する決議に関する件」（議案第19号）、「2023年度アイヌ民族の権利を回復する運動の推進決議に関する件」（議案第20号）が可決された。

また、「北海教区と兵庫教区との宣教協約継続に関する件」（議案第17号）が可決された。東島勇人兵庫教区総会議長が出席し、お互いの教区の思いを分かち合うことができ感謝であった。

教団問安使は黒田若雄

「東北地方地震被災教会支援募金」 献金報告															
2022年4月～ 2023年3月末現在															
2022年度も「東北地方地震被災教会会堂牧師館等再建募金」にご協力くださり感謝いたします。															
2021年2月13日に「福島県沖地震」同年3月20日に「宮城県沖地震」2022年3月16日に再び「福島県沖地震」と続けて震度6の地震が起きました。これまでに東北教区の10教会、関東教区の2教会伝道所に総額17,656,250円を支援しましたが、募金総額が14,364,770円（2021年度と2022年度）と、諸経費を差し引きますと350万円程不足です。															
引き続きご献金くださいますようお願いいたします。															
北 海		63,000		関 東		421,308		安藤記念		50,000					
岩 見 沢		9,000		越 谷		5,000		弓町本郷		10,000					
札 幌		50,000		埼玉新生②		200,000		経 堂 北		10,000					
帯 広		3,000		三 芳		3,000		広 尾		16,000					
洞 爺 湖		1,000		所沢みくに		5,000		佐 倉		5,000					
				新 津		2,000		三 崎 町		10,000					
奥 羽		41,900		水 海 道		20,000		三 宅 島		5,000					
一 関		5,000		西川口③		45,208		四 街 道		5,000					
秋 田 桜		4,000		太田八幡		16,100		市川三本松		18,500					
日 詰		5,000		大 宮 ②		60,000		小 松 川		5,000					
北 上 ②		27,900		東京聖書学校吉川		5,000		聖 ヶ 丘		100,000					
				東 大 宮		5,000		船 橋 ②		47,818					
東 北		47,535		日 立		10,000		代々木		933					
原 町		15,535		白 岡		10,000		代々木上原		30,000					
須 賀 川		10,000		武蔵豊岡		5,000		滝 野 川		51,360					
仙 台 北		5,000		西那須野		30,000		中 渋谷		40,000					
川 谷		5,000						天 王 台		2,000					
福 島		10,000		東 京		509,811		田園調布		5,000					
矢 吹		2,000		むさし小山		5,000		東京シオン		5,000					

2023年度は総額600万円を貸し出します。教区事務所を通して教団教育委員までお申し込み下さい。締め切りは8月31日です。融資実施要綱、申請書は教育委員会まで(電話03-3202-0544)。*教団HPからも。

伝 道 報 告

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

伝道の
ともしび

やさしい心・きれいな心・つよい心

学校法人ひかり学園園長 永倉 正嗣

てください。自分と同じくらい、みんなのことも大好きでいてください。

【教育理念】

聖書の教えをもとに「やさしい心」「きれいな心」「つよい心」を育てることを教育理念としています。「やさしい心」は、人の気持ちに共感してその人を思いやり、みんなを大切に思う心です。「きれいな心」は、当たり前のことを喜び、今ある幸せに

気づいて、すべてのことについて神さまと人に感謝の気持ちを表すことのできる心です。「つよい心」は、「誰かの役に立ちたい」「誰かを助けたい」「誰かに喜んでもらいたい」と、自分でできることをがんばる心です。

【創立からの歴史】
ひかり学園の歩みは、岡山市南部に幼稚園を建てて欲しいという地域からの要望で、1966年、岡山聖心教会創立者の永倉義雄牧師が、「第一ひかり幼稚園」「ひかり保育園

（3歳未満児）を設立したところから始まりました。

永倉信嗣牧師（現理事長が副理事長として、1970年に「第二ひかり幼稚園」、1975年に「第三ひかり幼稚園」を、半径1キロ圏内に、立て続けに開園。1979年に学校法人化し、ピーク時には園児数が千名を超えました。

30年が経ち園舎は老朽化。園児数も一時は約300名までに減少しました。2004年に、「第二ひかり幼稚園」を「第一ひかり幼稚園」に統合し、園舎を全面改築。その後、「第三ひかり幼稚園」も増築やリフォームを重ね、園児数も500名を超えるまでに回復しました。

2015年、学童保育所「ひかりキッズクラブ」を第三ひかり幼稚園内に開設。近隣4校の100名近くの卒園生を継続して保育しています。

2019年、幼稚園型認定こども園に移行。「第三ひかり幼稚園」は、認可外保育施設「ひかり保育園」を吸収し「第二ひかり幼稚園」に改名しました。

2022年、「第一ひかり幼稚園」も園舎を増築し、0～2歳児の保育を開始。現在、学園全体で700名の子どもたちと100名の先生たちが、神さまの愛に照らされ「ひかりの子」として過ごしています。

2024年からは、「幼稚園」を「こども園」に改名し、「第一ひかりこども園」と「第二ひかりこども園」となります。

これからも、聖書の教えをもとに、やさしい心・きれいな心・つよい心を育む園として、神さまに用いて頂きますよう、どうぞお祈りください。

狭山集会報告

動かせ司法
満座の声で



キリスト者前段集会

1963年埼玉県狭山市でおきた高校生殺害事件「狭山事件」の冤罪を訴える石川一雄さんを支援するため、5月23日冷たい雨の中、約1200人の市民が東京日比谷野外音楽堂に集った。狭山事件弁護団は2022年8月、東京高裁に11人の鑑定人の証人尋問と万年筆インク資料の鑑定実施を求め事実取り調べ請求書を提出している。市民集会で石川さんは、目が少し不自由になつてきたけれども元気で闘っていること訴え「吾が無実、叫び続けて60年、動かせ司法、満座の声で」と詠んだ。今年3月に再審が決まった袴田事件の袴田巖さんの姉袴田秀子さん、足利事件冤罪被害者の菅家利和さん、東住吉事件冤罪被害者の青木恵子さんらも連帯の声をあげた。集会後はデモ行進が行われた。

市民集会直前に超教派で「キリスト者前段集会」（会場：日本聖公会聖アンデレホール）が開かれ、不正義が続いていることへの懺悔と公正への願いを共に祈った（44名が参加）。呼びかけ団体の各代表、日本キリスト教協議会総幹事金性済さんが開会祈禱、同・議長古高叶さん、部落問題に取り組みキリスト教連帯会議議長奥村貴充さん、日本カトリック部落差別人権委員会委員長・長崎大司教中村倫明さん、日本基督教団部落解放センター運営委員長鈴木本祈さんが団体アピールを行った。またマリアの宣教師フランシスコ修道会のシスター細瀬則子さんが「私と狭山事件」と題して自身の関わりを共有した。運営委員山内英子さんが閉会祈禱をなさげた。「同宗連」事務局長我孫子高宏さんも来賓挨拶いただいた。各教区からの参加者は前段集会後に各地での取り組みを共有した。部落解放センターからは、運営委員長鈴木本祈さん、活動委員の汐碓直美さん、金愛さん、主事上野が参加した。これからも石川さんの無罪と解放を求める祈りを合わせ、署名活動等への参加を強く求めている。

（上野玲奈報）



古橋 健彦さん

信仰と漢方の遺産を継ぎ



尾鷲教会員、三重県立志摩病院医師、漢方診療・東洋医学会専門医

毎朝、教会のオンライン早天祈禱会に出席し、出勤するのが日課、「祈禱会から始めることで一日を大事にできる」と語る古橋さんは、志摩で漢方診療を行う漢方医だ。祖母と母がキリスト者の家庭に生まれ、尾鷲教会の幼稚園に通った。中高時代は横浜に新設された国際教育を掲げる一貫校で寮生活を送る。帰国子女や外交官の子弟に囲まれる生活に居場所を見失い、中学2年のある夜、学園創設者に「ここにいる意義がわからない」と訴えると、先生は「対話を学び、異なる価値観に触れて視野を広げること」と答えた。この言葉に目覚めるも、勉強より柔道に熱

中し、喧嘩に負ければ空手をやった。自分の夢や適性よりも「医者の子は医者」という時代だったと古橋さんは語るが、時が来ると医学部へ進学。医者である母に「医者とはひとりでダメだ。信仰を持たなければ」と強く勧められた。母の言葉で教会に通い始め、22歳で受洗した。牧師の紹介により伴侶の智恵子さんと出会えたことは「神さまからのご褒美だと思う」と古橋さんは語る。

医者としての歩みは順風満帆ではなく、挫折も同然の経験をして地元へ帰る。開業医の父母の手伝いの傍ら、もう

ル依存もあり受付では毎回その方が手にしている紙バックのお酒を一時お預かりした。誰も声をかけないのに献金の時に起き上がり、献け物をしてまた伏せる場面がある。神さまの前に身を投げ出して委ねきり、自分の力ではなく神さまの力によって福音を伝えていく。脱力してこそ必要な力を得ることを改めて知らされるひとときだった。かつてお仕えた教会で、説教が始まるとすぐに長椅子に横たわる求道者がいた。アルコール

力を抜いて力を得る

て礼拝後静かにお帰りになる方だった。皆が聖霊に守られていると感じる光景でもあった。

礼拝の語源は「ひれ伏す」だが、所作を伴わなくても、誰もが全てを神さまにお任せする信

仰の原点に置かれる。世に在る責任や役割、力むことから解放され主になつて力を抜く恵みも礼拝の豊かさの一つであろう。教会にまだ見ぬ誰かと神さまとの新しい出会いがあるよう祈る。

5月に父を天に送った。静かに息を引き取る瞬間を母と見守り、完全な脱力に主の平安を覚えた。「わたしたちは、キリストと共に死んだのなら、キリストと共に生きることにもなると信じます」（ローマ6章8節）。

（教団総幹事 網中彰子）

上から、岡山聖心教会、第一ひかり幼稚園、第二ひかり幼稚園

